

平成26年度第3回青森市指定管理者選定評価委員会（会議概要）

- 1 対象施設 青森市文化観光交流施設
- 2 開催日時 平成26年10月20日（月） 10:00～12:00
- 3 開催場所 青森市役所第1庁舎3階福利厚生室
- 4 出席者
 - (1) 選定評価委員 委員長 相馬 紳一郎（市民政策部次長）
副委員長 鈴木 裕司（総務部理事次長事務取扱）
委員 舘田 一弥（財務部理事次長事務取扱）
委員 能代谷 潤治（健康福祉部理事次長事務取扱）
委員 成田 聖明（教育委員会事務局理事教育次長事務取扱）
委員 岩船 彰（青森中央学院大学教授）
委員 佐々木 信一（東北税理士会青森支部税理士）
 - (2) 施設所管課（事務局） 観光課 課長 渡邊 慶隆
主幹 横山 明典
主査 西岡 隆
 - (3) 制度所管課 政策推進課 課長 佐々木 淳
主幹 福島 清裕
主事 小野 寛史
- 5 議題 指定管理者候補者選定に係る審査
- 6 会議概要

(1) 応募資格

事務局から、応募団体が応募資格要件を全て満たしていることを確認した旨を報告。

委員：応募資格要件のうち、「施設を安定して管理運営できる団体」かどうかについては、どのように確認するのか。

事務局：応募団体の収支決算書により確認することとしている。

(2) 選定基準による審査

【収支計画】

事務局から、市の指定管理料基準額及び応募団体の指定管理料提案額を説明。

（質疑なし）

【管理運営方針】

事務局から、選定基準、市の水準、審査の着眼点並びに応募団体の申請内容を説明。

委員：レストランにおいて、教育旅行向けの具体的なメニューの提案はあるのか。

事務局：現時点において具体的なものはないが、今後、青森県産の素材を活用したメニューを作っていくことになるかと聞いている。

委員：平成29年度から有料入場者数が毎年減っていく見込みとしているが、歯止めをかけるための新規事業や対策についての計画はあるのか。

事務局：ねぶた体験メニューを強化することで、個人会員や団体会員を増やし、施設へのリピーターを増やしていくと聞いている。

委員：現在のねぶた体験メニューに対する利用者の需要にどのように応えているのか。

事務局：教育旅行で来館する学校や観光客の要望や意見を踏まえ、紙貼り体験や曳き手体験メニューを追加し、充実させたいという提案である。

委員：展示する大型ねぶたを5台から4台に減らすのは、新たな体験メニューを実施するために必要なスペースを確保するためか。

事務局：そのとおりである。

【ねぶた関係団体、観光関係団体等との連携】

事務局から、選定基準、市の水準、審査の着眼点並びに応募団体の申請内容を説明。

委員：電車、飛行機、バスといった交通機関との連携はあるのか。

事務局：施設が青森駅周辺にあることから、現在の指定管理者である当該団体は、これまでもJR東日本と連携した事業を展開してきた。今後も交通機関を含めた関係団体との連携を強化し、誘客推進を図っていくこととしている。

委員：平成28年度の北海道新幹線開業に向け、県全体での取組が重要である。施設として、新幹線開業に向けた取組はあるのか。

事務局：新幹線開業は、青函連携事業やイベント、また、JR東日本における大型キャンペーンなど、誘客への大きなチャンスであることから、市と指定管理者が連携し、施設の活性化に繋げることとしている。

【地元雇用への配慮】

事務局から、選定基準、市の水準、審査の着眼点並びに応募団体の申請内容を説明。
(質疑なし)

【職員等の配置計画】

事務局から、選定基準、市の水準、審査の着眼点並びに応募団体の申請内容を説明。

委員：現在の職員配置との変更点はあるか。

事務局：ねぶた体験メニューを強化することから、体験メニューを担当する職員を増員する。また、館内の案内係が不足していることもあり、充実した館内案内業務、体験メニューを実施するため、7人増員する提案となつ

ている。

【職員の雇用・労働条件について】

事務局から、選定基準、市の水準、審査の着眼点並びに応募団体の申請内容を説明。

委員：施設の収入が落ち込んだ場合であっても、職員の昇給はあるのか。

事務局：提案書では、その点については言及していない。

【職員等の研修計画】

事務局から、選定基準、市の水準、審査の着眼点並びに応募団体の申請内容を説明。

(質疑なし)

【施設管理計画】

事務局から、選定基準、市の水準、審査の着眼点並びに応募団体の申請内容を説明。

(質疑なし)

【防犯、防災、緊急時の対応に関する取組】

事務局から、選定基準、市の水準、審査の着眼点並びに応募団体の申請内容を説明。

委員：危機管理マニュアルはあるのか。

事務局：すでに作成されており、これに基づく総合的な防犯・防災訓練を年1回以上実施することとしている。

【個人情報保護の取扱いに関する取組】

事務局から、選定基準、市の水準、審査の着眼点並びに応募団体の申請内容を説明。

委員：パソコンのパスワードは定期的に変更するのか。

事務局：変更のタイミングは不明であるが、定期的に変更するよう指導する。

【環境保全、負荷低減への取組】

事務局から、選定基準、市の水準、審査の着眼点並びに応募団体の申請内容を説明。

(質疑なし)

【市民の平等な利用を確保するための方針】

事務局から、選定基準、市の水準、審査の着眼点並びに応募団体の申請内容を説明。

(質疑なし)

【利用者等の要望等の把握と反映方法】

事務局から、選定基準、市の水準、審査の着眼点並びに応募団体の申請内容を説明。

委員：利用者からの要望や意見等を踏まえ改善したものは、その内容をホーム

ページ等で広く周知することとしているが、同様に、改善できないものについても公表すべきである。

事務局：そのように対応するよう指導する。

【サービス向上の対策】

事務局から、選定基準、市の水準、審査の着眼点並びに応募団体の申請内容を説明。

委員：苦情処理の体制はどうなっているか。

事務局：施設長を責任者とし、その苦情内容について、施設職員はもちろんのこと、市や施設テナント等の関係者間で共有することとしている。

委員：民間では、苦情処理を外部に委託する事例もある。導入を検討してはどうか。

事務局：検討するようお願いする。

【「青森ねぶたの保存及び伝承並びにその活用を通じた交流の促進に関する業務」の事業実施計画（自主事業提案含む）】

事務局から、選定基準、市の水準、審査の着眼点並びに応募団体の申請内容を説明。

委員：ねぶたの保存伝承、誘客に資するものとして、応募団体から提案された事業について、事務局はどう評価しているか。

事務局：新規で行うものとして、ねぶたホールでのねぶた体験メニューがある。そのほかの事業は既存事業となるが、現在の指定管理者である当該団体がアイデアを出し、ねぶた関係団体と連携し、試行錯誤を繰り返しながら実施してきたものであることから、十分に評価できる内容であると考ええる。

【「地域文化の振興及び発信を通じた交流の促進に関する業務」の事業実施計画（自主事業提案含む）】

事務局から、選定基準、市の水準、審査の着眼点並びに応募団体の申請内容を説明。
(質疑なし)

【「交流施設の設置目的に合致する集客に配慮した企画展、イベント等の実施に関する業務」の事業実施計画（自主事業提案含む）】

事務局から、選定基準、市の水準、審査の着眼点並びに応募団体の申請内容を説明。
(質疑なし)

【「交流施設の集客対策に関する業務」の事業実施計画（自主事業提案含む）】

事務局から、選定基準、市の水準、審査の着眼点並びに応募団体の申請内容を説明。

委員：応募団体の提案する有料入場者数が、市の見込みよりも若干少ないこと

について、事務局はどう考えるか。

事務局：これまでの有料入場者数の推移や、一部利用料金制であることを考慮した提案だと思われる。

【同種の施設管理業務の実績】

事務局から、選定基準、市の水準、審査の着眼点並びに応募団体の申請内容を説明。
(質疑なし)

(3) 審査結果

委員長：集計の結果、「公益社団法人青森観光コンベンション協会」の得点は98.22点であった。また、これは最低得点である75.5点を上回っていることから、当該団体を指定管理者候補者としてよろしいか。

委員：(全員、異議なし)

委員長：それでは、「公益社団法人青森観光コンベンション協会」を青森市文化観光交流施設の指定管理者候補者とする。